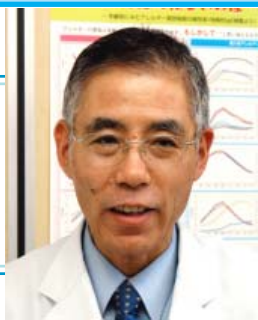


医院・診療所便り ~ 総合病院との連携について ~

間嶋胃腸内科
医院
院長
間嶋 崇哉



けています。頻繁に起こるのは高齢者の救急搬入で、地域医療連携室に電話を掛けて京都駅前康生会武田病院でお世話になることが度々あります。CTなどの検査についても、連携室でスムーズに対応してもらっており、感謝しております。

当院は明治後期、私の祖父時代からの開業で、地域の方々からの信頼は厚いものがあると思っています。時折、80歳代の方から、「間嶋先生の大先生に、人力車で往診に来ていただきました」とおっしゃることもあります。私が受け継いだのは昭和58年ですが、できるだけ地域の患者・家族の方のニーズにお応えすべく、往診を行っています。街中で皆さまと顔を合わせ、挨拶や言葉を交わすことで、元気な姿を確認したり、病気の有無もわかるのではないかと考えます。

日本の医療行政は診療報酬の改悪など、病院にも開業医にもなかなか厳しい情勢です。高齢者の定額1割負担、サラリーマン本人の3割負担などが、その最たるものです。開業医を締め付ける「門前クリニック」などに走る病院も多いのですが、武田病院グループは開業医との共存、患者さまを第一に考える「ブリッジ・ザ・ギャップス」を理念に掲げておられ、これからもあくまでも患者さまの健康を守るために手を携えていきたいと思っております。

私のモットーとしましては、地域の患者さまのことを事細かに知っておくことが大切だ

と考えていることです。中には親子3代にわたって診ているご家族もありますので、親に聞けば子供のことも、子供に聞けば両親や祖父母のこともわかるようにしたいのです。信頼感を持っていただくことで、治療や病院への紹介などもやりやすくなります。

私も下京東部医師会の班長で、乳幼児保健教室、胃検診読影会、市民検診を担当していますし、医師会研修会で高度医療の現状を勉強しております。しかし、医療はどんどん進歩しており、今後、武田病院の高度先進医療を学んだ医師の方々と多く接する機会を設けていただき、研修機会を増やしていただければ幸いです。



〒600-8183
京都市下京区
間之町通り
六条下ル夷之町
88番地

TEL : 075-351-1286
FAX : 075-351-1332

診療科目：胃・内・小児



ただだメディカルニュース

Vol.13 発行日 平成16年6月20日

理念	
思いやりの心	
基本方針	環境方針
ブリッジ・ザ・ギャップス 患者さんの権利の尊重 信頼の医療に向けて 地球にやさしい環境づくり	省資源・省エネルギー 廃棄物の減量化 リサイクルの推進 安全性・快適性の推進 環境広報活動の推進

発行 武田病院グループ
京都市下京区塩小路通西洞院東入ル
TEL 075-361-1351(代)
発行人 武田 隆久

医療法人財団康生会 武田病院 睡眠呼吸医療センター 特集

睡眠呼吸医療センター オープン!



康生会武田病院 顧問
久野 健志(くの・けんし)

1959年京都大学医学部卒業。60年国立宇多野療養所。64年カリフォルニア大学サンフランシスコ医学部。67年天理よろづ相談所病院。72年兵庫県立塚口病院。84年京都大学助教授(胸部疾患研究所臨床肺生理)。86年京都大学教授(同前)。96年京都大学名誉教授。2001年医仁会武田総合病院副院長。02年医仁会武田総合病院院長代理。04年4月より現職。



睡眠時無呼吸症候群は睡眠だけでなく健康自身をも障害することが明らかになっています。ゆっくり寝て、1日の疲れを取るはずの睡眠が、無意識のうちに障害されることがあってはならないと考え、「京都地域でも容易に睡眠時無呼吸症候群の検査が受けられるように」と京都駅前の康生会武田病院で睡眠時無呼吸外来を始めたのは2002年1月でした。「症状はあるけれど検査を行ってほしいがわからない」と心配しておられた方が多かったと見えて、用意した検査予約は、たちまちいっぱいとなり検査が3~4カ月待ちとなったので、7月より宇治武田病院に検査ベットを用意して、皆さま方の要望に応じてまいりました。しかし、この検査が、最低でも1泊入院を必要とすること。この症状が、活発に職場の中心的な立場で精力的に活動しておられる、中年のアクティ

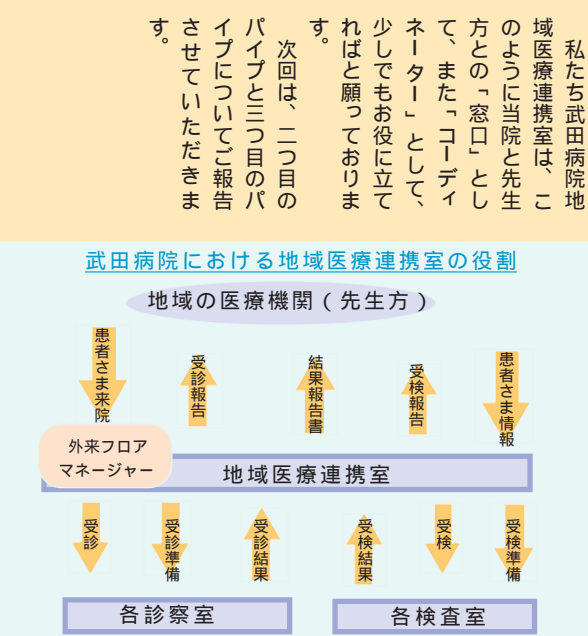
ブな男性の方々に多いことを考えると、できるだけ交通の便のよい便利な所で検査を行わなければならないと考えていました。幸い、今回、京都駅前の康生会武田病院に、京都大学呼吸器内科の三嶋理晃教授のご厚意で大塚直紀部長を迎え、呼吸器内科を設立することができましたので、この機に、康生会武田病院の中に「睡眠呼吸医療センター」を設立し、全ての検査を行うことになりました。なお、このセンターには、これまで行ってまいりました睡眠時無呼吸の外来の他に、神経内科および精神科の協力を得て、無呼吸以外の睡眠障害を扱う睡眠障害外来と種々の原因による不眠を扱う心療内科を設けております。併せて、よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室から



3月6日(土)、下西部医師会 病診連携委員会主催により、第16回「西集談会」が開催され、武田病院地域医療連携室も「武田病院における地域医療連携の取り組み」というテーマで発表させていただきました。今回は、その発表内容をシリーズにし、3回に分けてまとめさせていただきます。私ども武田病院地域医療連携室は、当院と先生方を繋ぐパイプ役であることは申すまでもありませんが、そのパイプは大きく3本のパイプに分けることができます。一つ目のパイプは高度医療機器の活用や、専門医による診察の案内・紹介。二つ目のパイプは開放型病床群に関する医師の登録案内。三つ目のパイプはクリティカルパスによる先生方との連携となると思われま

ます。一つ目のパイプは右上図のようにあります。こうした双方のパイプを前提に、地域医療連携室の位置づけを左下図でお分かりいただけます。



医療法人 財団 康生会 武田病院
(連絡先) 地域医療連携室
TEL 075(361)1352(直) / FAX 075(361)1268
E-mail renkei-e@takedahp.or.jp URL http://www.takedahp.or.jp/

検査予約センター
TEL 075(351)1132(直) / FAX 075(361)1268
室長: 松山 則彦

睡眠時無呼吸症候群



睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に咽頭、喉頭など上気道の緊張が緩んで起こります。まず上気道に狭窄が起こり、いびきが発生します。弛緩がさらに進むと、上気道は完全に閉塞し、呼吸が止まってしまいます。呼吸は20秒から1分後再開しますが、この呼吸停止を繰り返します。10秒以上の呼吸停止を無呼吸、浅呼吸を低呼吸とし、一晚を平均して一時間に無呼吸、低呼吸が何回起こるかを無呼吸低呼吸指数(AHI)と名付け、無呼吸、低呼吸指数5以上を睡眠時無呼吸症候群と診断します。

無意識のうちに、種々の身体障害の原因となり、重症の睡眠不足を招く

呼吸の停止が起こると、血液の酸素濃度が低下してきます。低下があるレベルに達すると耐えきれなくなることで無意識の覚醒が起こり、呼吸が再開します。人によっては一時間に100回もの呼吸停止が起こりその都度覚醒するため深い眠りに入らず、知らない間に重症の睡眠不足を招き、昼間の精神活動や労働能力の低下を来し、交通事故や労働災害の原因になります。また、頻回の低酸素血症、胸腔内圧の増加は、虚血性心疾患や脳梗塞、脳出血の原因となり、高血圧も助長して、突然死の原因となります。また、肥満、糖尿病、インポテンツの原因となります。

著明な症状があれば検査を

発症は、肥満による上気道への過剰な脂肪沈着が関連しますが、日本人の場合30%は非肥満者であり、解剖学的に上気道が狭いことが原因の一つとされています。いびきの強い方、特に夜間呼吸停止が認められる方、および原因不明の眠気、朝の頭痛、不眠や夜間覚醒、睡眠時の異常体動、夜間多尿、知的能力の減退インポテンツなどが著明な方は、睡眠無呼吸の外來を受診してください。しかし、長年の経過なので、自覚症状を自覚していない場合も多いので近くで寝ている方の証言が大事です。



康生会 武田病院 呼吸器科 部長 大塚 直紀 (おおつか・なおき)

1987年京都大学医学部卒業。京都大学胸部疾患研究所臨床肺生理学教室入局。89年大阪府済生会野江病院。92年京都大学大学院、久野教授、大井助教授の指導の下、睡眠時無呼吸症候群の研究に携わる。97年大津赤十字病院。2003年8月より現職。



ポリソムノグラフィーによる 一晚入院のおおまかな流れ



脳波を測定する電極を装着します



電極を貼り付けた状態



検査で得られた脳波を専門のスタッフがモニタリング



一晚就寝していただきながら検査を進めます
家庭的な雰囲気ベッドをご用意

検査は

器具を借り出して自宅での睡眠中の酸素濃度の低下を測定するパルスオキシメーター検査や、簡易型の睡眠無呼吸検査がありますが、これらの方法は、およその睡眠中の無呼吸の有無を推定することができます。正確には脳波を含め、多くの電極を貼り付けて、一晚寝ていただくポリソムノグラフィーで睡眠深度を含めて検査を行わなければ診断できませんので入院が必要で、センターでは、できるだけ患者さまの毎日のお仕事の邪魔にならないように、午後7時入院、翌朝7時退院で検査を行っています。



治療は

治療の中心は鼻マスクによる持続陽圧呼吸(CPAP)となります。夜間睡眠時に鼻マスクを介して気道内に陽圧をかけ、気道の虚脱を防ぐ方法です。治療の陽圧の程度を決めるためにもう一度一泊入院が必要ですが、奏効率も高く、多くの方が、着用品からぐっすり眠れて、翌日眠気が無くなり、晴れ晴れとした日が送れるようになったと喜んでおられます。器具はレンタルの形となり医療保険の適応を受けるために毎月一度の受診が義務付けられていますが、月一度の病院受診は大変なので、安定した後はお近くの先生の夜間診療時間に診ていただくようにしたいと考えています。

CPAP療法他に、この4月から歯科器具が保険適用になりました。下顎を少し前に出して眠るためのマウスピースで、睡眠センターからの紹介を受けて歯科で型取りして作ります。旅行などに便利なのでCPAP療法と併用する人が多くなっています。

肥満の方は肥満が睡眠時無呼吸の原因になっている場合が多いので、生活習慣を改善して減量することが根本的な治療になります。小児の場合は扁桃肥大やアデノイドなどが原因になっていることが多く、その場合は、これらの切除術で改善します。

肥満のない睡眠時無呼吸に対しては、軟口蓋咽頭形成術(UPPP)や舌根部切除、下顎延長などの手術が試みられていますが、軟口蓋咽頭形成術も比較的奏効率が低いので症例に応じた適応となり、他の手術は現在のところ、まだ一般的ではありません。

STUFF

医道会 十条病院 うつ予防医療センター長 森下 茂 (もりした・しげる)

1982年川崎医科大学卒業。88年同大学大学院生化学系内分分泌薬理学卒業。同年5月～90年5月米国テネシー大学留学。90年7月～2003年12月川崎医科大学精神科学教室講師。04年1月より現職。



康生会 武田病院 神経・脳血管センター 副部長 大西 克則 (おおにし・かつのり)

1986年京都大学医学部卒業。天理よろづ相談所病院、京都大学精神神経科、倉敷中央病院にて研修後、91年京都大学大学院。95年医仁会武田総合病院。97年京都大学再生医学科学研究所を経て、2001年4月より現職。



睡眠呼吸医療センター外来診療

	月	火	水	木	金
午後診 2:00~ 4:00	森下 心療内科	久野 睡眠無呼吸 西沼 心療内科	大塚 睡眠無呼吸		中村 睡眠無呼吸
夜診			5:00 田中 睡眠無呼吸 5:30 大西 睡眠障害		

外来は全て予約制です

予約は075-361-1351(代)へ電話してください

<担当医>

睡眠無呼吸外来

久野健志：康生会武田病院顧問
大塚直紀：康生会武田病院呼吸器科部長
中村敬哉：京都大学呼吸器内科
田中静吾：京都大学化学研究所

心療内科

森下 茂：十条病院うつ予防医療センター長
西沼啓次：加茂町高齢者福祉センター施設長

睡眠障害外来

大西克則：康生会武田病院
神経・脳血管センター 副部長